

綏芬河口岸から北東アジア地域経済協力にウィンウィンを

中国共産党綏芬河市委員会書記

王興柱

綏芬河市は黒龍江省の東南部に位置し、ロシアの沿海地方と接しており、道路と鉄道の国家一級口岸（通関ポイント）をそれぞれ一ヶ所もち、その鉄道口岸は全国で第三位に数えられる。1903年、中東鉄道の開通後、ロシア・日本・イギリスなど多くの国の商人が集まり、その時代は「国境商都」と呼ばれていた。1992年、初の国境拡大開放都市として国家に承認され、2016年には国務院に綏芬河—東寧重点開発開放試験区の設立が承認された。前後して「全国文明都市」「中国優秀観光都市」「中国木業の都」などの荣誉ある称号を獲得している。現在、「一帯一路」イニシアチブの実施が推進され、中国—モンゴル—ロシア経済回廊の速やかな建設がすすめられており、綏芬河の優位と潜在能力が十分に発揮されて、発展の将来性がさらに開かれている。

(1) 海洋に通じていて、地理的な優位がさらに明確に

綏芬河は北東アジア経済圏の中心地帯にあり、西はハルビンまで460キロ、東はロシアの極東最大の港湾都市であるウラジオストクまで190キロ、ナホトカまで270キロで、中国の東北地域が国際分業に参加する架け橋かつ紐帯であり、北東アジアと接続してアジア太平洋地域に向かう「黄金ルート」の誉れが高い。私たちは陸と海の複合一貫輸送大ルートの建設を速やかに進め、ハルビンから綏芬河を経て極東の港から日本と韓国に到達する「哈綏ロア（ハルビン—綏芬河—ロシア—アジア）」の複合一貫輸送列車を開通した。2017年には64列車出発させ、コンテナにして7250個、貨物量にして11万トン、金額ベースで6.5億元にのぼっている。

(2) 基礎をつきかため、基本的な条件をさらに確固としたものへ

新しい段階の口岸の改造は基本的に完成し、道路口岸の一年の旅客通過能力は延べ100万人から600万人まで向上し、貨物通過能力も550万トンまで引き上げられた。鉄道口岸の一年の国際国内旅客輸送能力は延べ2000万人に達し、積替え能力も3300万トンまで向上した。ハブ空港は2019年に完成する予定で、ロシア・日本・韓国および国内の北京・大連などへの路線を開通する計画だ。

(3) 政策を集中させ、口岸の活力を速やかに開放

綏芬河は全国で初めて輸入穀物指定口岸として承認され、豚肉輸出の指定口岸、自動車完成車輸入の指定口岸、冷蔵・冷凍水産品と食用水生動物の輸入指定口岸としても承認され、ルール使用の試験都市および国が第2グループとして指定した全域観光モデル区になり、ロシア人のノービザ入国や海外観光客の出国時税返還など国家レベル、省レベルでの優待政策がとられている。

(4) 資源の統合、双方向協力がさらに効果を発揮

綏芬河の対口貿易における輸出入商品は171の大きな分類、1400余りの品目に達し、最近10年の累計対外貿易額は580.1億ドル、対口貿易額は294.2億ドルに達し、口岸通過の貨物が全省貨物の80%を占めている。最近10年間の輸入木材の累計は5900万立方メートルで、中国最大のロシア木材輸入集散地となっている。綏芬河市は観光業で「越境、生態、文化」という特色をうちだし、越境観光旅行、国外狩猟旅行、共産党の革命聖地旅行や冬季冰雪旅行などを大いに発展させ、2017年の観光出入国人数は延べ100万人を突破している。

(5) 基地を建設して投資誘致、産業プラットフォームをさらに広大に

綏芬河は国境経済協力区・総合保税區・互市貿易区（国境地域で個人が行う商品売買）など多くの国家レベルの機能園區（工業団地）を有しており、「工業が園區に集中すると、商業やサービス業も園區に集まる」という発展の枠組みにしたがって、われわれは園區の産業的な位置づけをさらに明確化し、実体経

済を大いに発展させ、園区間の協力や連携、相互に影響を与え合う発展の推進に力を尽くしていく。

今後しばらく、綏芬河市は越境物流、木材加工、グリーン食品、ロシアの穀物加工貿易、水産加工、互市貿易、越境観光、完成車輸入などの8つの産業クラスターと経済成長スポットを創造するのに努力していくつもりだ。

[ERINAにて翻訳]